

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **02218251 A**

(43) Date of publication of application: **30.08.90**

(51) Int. Cl **H04M 1/00**
G06F 3/033
H04M 1/02

(21) Application number: **01039611**
(22) Date of filing: **20.02.89**

(71) Applicant: **FUJITSU GENERAL LTD**
(72) Inventor: **KADOKURA SACHIKO**

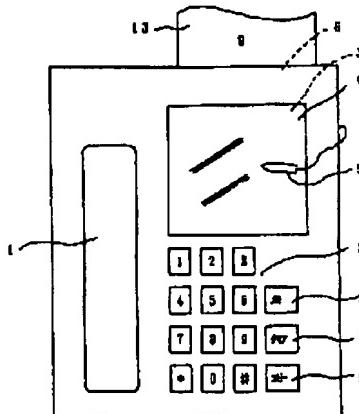
(54) TELEPHONE SYSTEM

(57) Abstract:

PURPOSE: To arrange the space of a telephone system nearly by providing a picture display means and a picture write means and displaying a picture written by the said picture write means onto the said picture display means.

CONSTITUTION: A touch pen 5 is used to trace a touch panel 4, then the traced locus is detected by the touch panel 4 and fetched by a control section and stored in a memory. On the other hand, the content of the memory is always displayed on a liquid crystal display panel 3. Thus, the content written in the touch panel 4 by the touch pen 5 is displayed on the liquid crystal display panel 3 as it is. Since a memory is written in the touch panel 4 by using the touch pen 5 during the reception of a telephone call by a handset 1 and the memo is printed out as required, it is not required to place a memo around the telephone system.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio



⑫ 公開特許公報 (A) 平2-218251

⑬ Int.Cl.⁵H 04 M 1/00
G 06 F 3/033
H 04 M 1/02

識別記号

3 6 0

府内整理番号

Q A A

⑭ 公開 平成2年(1990)8月30日

8949-5K
7010-5B
7925-5K

る。1は送受話器、2は電話用ブッシュボタン群、3は液晶表示板、4は液晶表示板3の上面に配置される透明のタッチパネル、5はそのタッチパネルに書き込むためのタッチペン、6はプリンタ、7はメモボタン、8はクリアボタン、9はコピーボタンである。

第2図はそのメモ機能部分のブロックを示す図であり、C P Uからなる制御部10に対して、上記した液晶表示板3、タッチパネル4、タッチペン5、プリンタ6、メモボタン7、クリアボタン8、コピーボタン9等が接続され、また画像記憶用のメモリ(V R A M)11も接続されている。

この実施例では、メモボタン7を押下することにより制御部10が動作を開始する。そして、タッチペン5によりタッチパネル4をなぞることにより、そのなぞった軌跡がタッチパネル4で検出されて制御部8に取り込まれ、メモリ11に記憶される。一方、液晶表示板3はこのメモリ11の内容を常時表示する。従って、タッチペン5でタッチパネル4に書き込んだ内容が、そのままその液

晶表示板3の面に表示されるようになる。

ここで、クリアボタン8を押下すれば、それが記憶されていた画像内容がメモリ11から消し去られ液晶表示板3の表示がクリアされる。

また、コピーボタン9を押下すれば、メモリ11に記憶されている画像データがプリンタ6に転送されて、そのプリンタ6において用紙13にプリントアウトされる。このプリンタ6としては、静寂、小型、安価等の理由から熱転写方式のものが好適である。

この実施例によれば、送受話器1による電話応対中にタッチペン5によってタッチパネル4にメモを書き込むことができ、そのメモは必要に応じてプリントアウトすることができるので、電話装置回りにメモ帳等を置く必要はなくなる。

なお、電話装置に画像送受信用の液晶表示板が具備されている場合には、この液晶表示板を本実施例の液晶表示板3として兼用することができる。

また、この液晶表示板3にC R T(陰極線管)を使用することもできる。この場合はタッチパネ

ル4は不要であり、タッチペン5をライトペンに変更すれば良い。

また、タッチパネル4は必ずしも液晶表示板3の上面に設ける必要はなく、他の部分に設けることもできる。

(発明の効果)

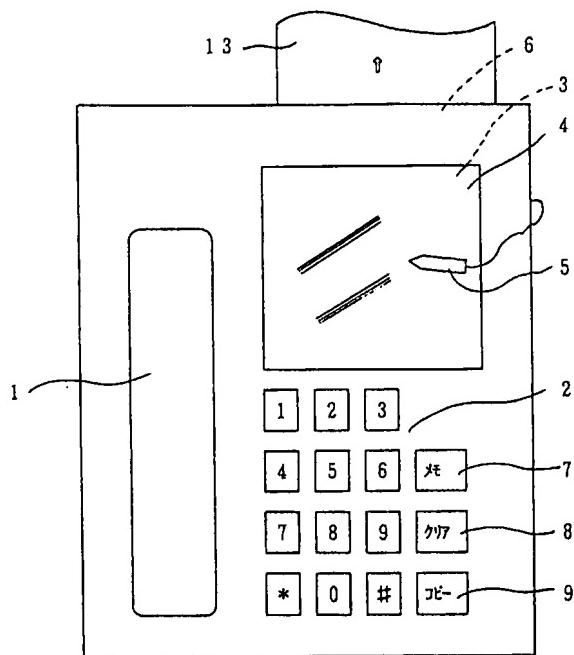
以上から本発明によれば、電話装置がメモ機能を有するので、特別のメモ帳を用意する必要はない、電話装置回りがスッキリする。またプリントアウトすることにより必要事項を記載したメモを持ち去ることもできる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例の電話装置の外観を示す説明図、第2図は内部のメモ機能部分のブロック図である。

代理人 弁理士 長尾常明

第 1 図



第 2 図

